

湯野小

学校だより

令和元年12月号

発行 校長室

師走の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。早いもので令和元年も年の瀬を迎えました。今年はインフルエンザの流行も早いようです。子どもたちには、寒さに負けず、元気いっぱい1年の締めくくりの月を過ごしてもらいたいものです。

児童会「ゆのっ子わくわくパーティー」大成功

企画委員会がかかげためあてである「友だちと仲良くお店をまわろう」「協力してお店をつくって運営し、ほかの学年との関わりも深めよう」が十分に達成された「わくわくパーティ」になりました。

児童の意欲的で自主的な姿が すばらしかったです。





金管クラブ ジュニア 文化発表会(10月23日)

本校金管クラブ員が、タントの音楽ホールで「世界で一つだけの花」 の演奏を行いました。透明感のある 美しいハーモニーが響き渡り、練習 の成果を見事に発揮しました。



道徳の時間の充実に努めています ~~「豊かな心で共に学び合う子どもの育成」のために~~

今年度から、「特別の教科 道徳」がスタートしました。そして、近年、道徳に関して、学校・地域・家庭が連携して取り組もうという気運が高まっております。 湯野小学校でも、

- 1 目標をもち、自分を向上させる子(=向上心)
- 2 相手に思いやりの心をもち親切にする子(=思いやり)

の2つを重点目標にし、これまで以上に「自ら考え、学び合う道徳授業」をめざし、道徳の時間の 充実に努めています。また、年に1回は道徳の授業を保護者の方々に見ていただけるよう授業参観 等で公開しています。

ぜひ、ご家庭でも、道徳に関することをお子さんと話題にしていただけたらと思います。

2年生 道徳の授業より

題材名「デカとぼく」

いしかわ動物園で大人気だった日本一長生きのカバ「デカばあちゃん」と、その飼育員坂巻さんのお話。デカは、坂巻さんが、口の中に頭を入れて奥まで洗っても、決してかんだりしません。実は、最初からなかよしだったわけではありません。どうして二人がこんなになかよくなったのかについて、考えました。



授業を終えての感想

人と動物がわかり合うのはたいへんなことだと思っていたけど、こんなにも大好きという気持ちをもてば、会話しなくても、わかり合えたので、とてもすごいことだと思いました。